

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成25年10月18日

施設名	高知県立歴史民俗資料館	所管課	文化推進課
-----	-------------	-----	-------

1 施設の概要

指定管理者名	公益財団法人高知県文化財団	指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日
施設所在地	南国市岡豊町八幡1099-1		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県の歴史、考古及び民俗(以下「歴史民俗等」という。)に関する資料の収集、保管及び展示 ・歴史民俗等に関する専門的な調査研究 ・歴史民俗等に関する講演会、講習会、研究会等の教育普及活動 ・高知県における文化財の保存、活用の推進 ・上記のほか、歴史民俗資料館の設置の目的を達成するために必要な業務 		
施設内容	<p><建物> 延床面積4527.47㎡ RC造地上3階建 <土地> 124,520㎡ <主要施設> 常設展示室、企画展示室、体験学習室、AVホール、多目的室、収蔵庫、燻蒸室、研究室、会議室、資料室など <開館時間> 午前9時～午後5時 <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> 常設展 一般450円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 企画展示室23,470円(1日) AVホール14,990円</p>		
職員体制	特別職非常勤: 1人 常勤職員: 8人 契約職員: 13人 合計: 22人		

※職員数は平成24年4月1日現在

2 収支の状況

単位:千円

		平成23年度(決算)	平成24年度(決算)	平成25年度(予算)
収入	県支出金	124,584	134,662	139,499
	事業収入	8,051	5,945	7,500
	その他	10,557	3,641	6,093
	収入計(a)	143,192	144,248	153,092
支出	事業費	140,026	143,369	144,952
	(うち人件費)	(61,867)	(78,779)	(72,953)
	その他	3,166	879	0
	支出計(b)	143,192	144,248	144,952
収支差額(a)-(b)		0	0	0

3 利用状況

		平成23年度(実績)	平成24年度(実績)	前年度比
	常設展	2,418人	2,137人	- 281人
	企画展	30,828人	21,272人	- 9,556人
	合計	33,246人	23,409人	- 9,837人
①年間利用者数(単位:人)	<利用実績> 平成24年度は館オープン後20年以上を経過し、老朽化した施設設備の工事のため、12月25日から3月31日まで臨時休館を実施した。このため、総入館者数は昨年を下回った。 10月6日～12月23日の79日間、高知・岡山文化交流事業として、全国屈指の日本刀産地である備前の名刀をテーマとした「刀・武士の魂」展を開催し、9,071人の観覧者があった。			

要求水準 1

「資料センターとしての機能を果たし歴史文化を未来に伝える」

高知県の歴史や文化に関する膨大な資料を適正に管理し、また調査研究の成果を公開することでこれまでの歴史の積み重ねのうえに現在の高知県があることを今に伝え、また未来へと引き継ぐ。

評価項目	評価	意見(コメント)
<p>○ 高知県の歴史や文化に関する膨大な資料を適正に管理し、また調査研究の成果を公開することでこれまでの歴史の積み重ねのうえに現在の高知県があることを今に伝え、また未来へと引き継ぐ。</p> <p>・収蔵機能の維持に努める。特に地震から資料を守るため収蔵庫の棚の地震対策を進める。</p> <p>・資料収集は長期保存を念頭に置き、本県の歴史文化のうえで後世に伝えることが必要なものを対象とし、適正な保管に努める。また、収蔵庫の状況や埋蔵文化財センターとの機能分担の観点から、収集及び保管のあり方について検討する。</p> <p>・収蔵資料のデータ化を進めるとともに、資料館にどのような資料があるのか県民に分かりやすく紹介する。</p> <p>・貴重な資料を保管することができる収蔵機能とノウハウにより、資料館の資料のほか、他の文化施設等が所管する県有資料の保管も行うなど、県全体の資料センターの役割を担う。</p>	B	<p>・さまざまな資料収集に努めている</p> <p>・地震対策とデータベース化を進めて欲しい</p> <p>・収蔵作業を進め、廃校となった旧大橋高校校舎に民俗資料を保管し、公開もするなどの活用も出来ている</p> <p>・予算の中でがんばっていると思うが、地震対策は急務である</p> <p>・収蔵庫の強化にも着実に取り組んでいる</p> <p>・10000点を越える玩具などがある</p> <p>・災害等による文化財の散逸を防ぎ、保全する文化財レスキュー活動を行っている</p>

評価項目	評価	意見(コメント)
<p>○ 収蔵資料の調査研究を進め、その成果を常設展示及び企画展示等の方法で広く県民に公開する。</p> <p>・より個性ある資料館を目指すため、資料収集や調査研究のテーマに例えば長宗我部氏や四国遍路、近世庶民氏など特色を打ち出す。</p> <p>・高知県唯一の重要文化財の「公開承認施設」であることから、県外博物館との連携も行いながら魅力ある企画展の開催に努める。</p>	A	<p>・他館の資料を保存・管理する施設としても機能している</p> <p>・調査、保存、展示をコンスタントに行っている</p> <p>・県外博物館との連携で相互に企画展開催ができた</p> <p>・より魅力的な展覧会で入場者数減に歯止めをかけて欲しい</p>

要求水準 2

「高知県の歴史や文化を学ぶ拠点となる」

展示や教育普及事業を充実させ、県民が、自らが生まれ育った高知県の歴史や文化を知るための拠点となる。

評価項目	評価	意見(コメント)
<p>○ 展示施設、展示内容の両面でリニューアルに向けた検討と実施を行う。</p>	A	<p>・見せるための努力をしている</p> <p>・LED化で視覚的効果が向上した</p> <p>・長宗我部関係資料の内容、展示が好評</p> <p>・受付は資料解説員という位置づけが斬新</p> <p>・入館者の立場に立った検討を進めた</p> <p>・より見やすい工夫を行った</p>

評価項目	評価	意見(コメント)
<p>○ 子どもを対象とする出前授業や資料館での校外学習に計画的に取り組む。</p> <p>・県民が郷土の歴史や文化に親しむことのできる講座等の開催。</p> <p>・資料解説や関連図書等の充実を図るなどで、レファレンス機能を高める。</p> <p>・遠隔地からでもインターネット等により資料館を訪れ学習できるような取組を進める。</p>	A	<p>・教育的効果を感じる</p> <p>・講座、講演会が好評</p> <p>・イベントの情報をより広く伝えて欲しい</p> <p>・積極的な取り組みで学校関係の利用を伸ばしている</p> <p>・HPへの対応も着実に進めている</p> <p>・史跡としての役割や価値を自覚し、実物を見せる教育を行っている</p> <p>・高校、大学に対する教育・普及活動を行っている</p>

評価項目	評価	意見(コメント)
○ 長宗我部氏の居城跡岡豊山に立地していることを踏まえ、長宗我部氏関係の資料収集や研究、その展示等において全国に誇れる資料館となる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・長宗我部展示室の充実がなされた ・今後も資料の充実につとめて欲しい ・寄贈、寄託があり、ますます資料の充実がなされた ・長宗我部の本山として誇れるものになっている ・地元(南国市教育委員会、土佐のまほろば地区振興協議会等)と連携し、事業(伝家老屋敷跡の発掘調査現地説明会、岡豊山さくらまつり、長宗我部フェス他)を行っている

評価項目	評価	意見(コメント)
○ 岡豊山を含めて知的好奇心を高めることができるゾーンの形成を目指すなど、地域との連携を進める。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント事業を通して地域との連携が図られている ・県民が参加してみたいイベントをよく開催している

効率的な運営、サービスの向上、施設、設備の管理

評価項目	評価	意見(コメント)
適正な管理運営の確保 社会的責任 ・法令等の遵守 ・個人情報、情報公開の状況 建物や設備の管理 ・点検・修繕の実績 ・業務委託の状況 危機管理 ・風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策 ・マニュアルの作成 ・職員研修	B	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵庫満杯なので今後県へ増床の要求をする必要がある ・3ヶ月の休みがあったにもかかわらず例年並の入館者があった ・コンプライアンスはきちんと果たされている ・概ね水準はクリアしている ・経費削減の努力も伺える
利用者サービスの維持向上 サービス向上への取組 ・自己点検・評価の状況 ・事故、クレームへの対応 ・職員の専門性の向上 ・研修の実施状況 ・その他サービス向上の取組		
利用実績 利用実績の状況 ・利用状況の分析		
収支の状況 経営努力 ・収入増加の取組 ・経費削減の取組		

	評価	意見(コメント)
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・人の営みを後世に伝える施設として活発に動いている ・高知市内からはずいぶん遠いが、わざわざ足を運びたい事業や工夫がみられる ・毎年増えていく資料の対応が大変だと思うが、頑張っで欲しい ・香美市物部に伝承された独自の陰陽道・民間信仰「いざなぎ流」は今後注目のコンテンツになり得る ・自館の魅力を活かした意義ある取り組みがなされている ・予算等制約のある中で努力している ・弱点を克服し、より魅力をアピールできる取り組みを期待する ・収蔵について県と協力して貴重な資料を確実に保管できるようにして欲しい ・クレーム対応は素早く行っている
県の評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・岡豊城跡と長宗我部氏をテーマとした事業や、児童・生徒を対象とした教育・普及活動、岡山県との文化交流として「刀・武士の魂」展の開催など、歴史や文化を学ぶ拠点としての役割を十分に果たしている。 ・寄贈された資料の整理に時間を要しており、引き続き資料のデータベース化を進める必要がある。

【評価の目安】

- A：仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B：おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C：仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D：管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

この「4. 県の要求水準に対する評価」は、外部の有識者等で構成する委員会による評価及び意見と、それらをもとに県が評価及び意見を付したものです。

平成24年度事業報告書

(1) 歴史民俗資料館

高知県立歴史民俗資料館の活動は、高知県内の歴史・考古・民俗資料の調査研究・収集保存・展示公開を行い、土佐の人々の足跡を現在及び次世代に伝えることにより、県民文化の振興に寄与し、伝統を活かした個性豊かな郷土の発展に貢献することを目的とし活動しています。また県内の博物館・資料館の中心的施設としての役割を持ち、地域と連携・協力して地域の文化遺産の保護保全活動と併せて、これらを活用した地域活性化事業にも、地域と共同で取り組んでいます。

また、昨年度は高知・岡山文化交流事業の第1弾として、全国屈指の日本刀産地である備前の名刀をテーマとした「刀・武士の魂」展を開催し、体験型イベントを実施するなど、好評を博することが出来ました。さらに、国指定史跡である岡豊城跡と長宗我部氏をテーマとした企画から一步踏み出した事業として、七守護巡り（バスツアー）を実施し、土佐の中世城館と地域の食を組み合わせた当館ならではの、特色ある事業展開も行ってきました。

特殊要因として、館オープン後20年以上を経過し、老朽化した空調機器関係の工事が必要となり、年度の後半、12月25日から3月31日までの臨時休館を行わざるを得ませんでした。そのため、年度当初予定していた企画展のうち一部を延期することとなり、総入館者数は昨年を下回りましたが、1日あたりの利用者数は前年度と同等水準を維持することができています。

今後とも、新しい形の博物館（資料館）づくりを目指し、県民に親しまれる文化施設として、また地域の文化センター施設として、地域とともに歩むミュージアムタウンづくりを進めてまいります。

ア 利用状況

展覧会	入場者(人)	料金(千円)	備考
常設展	2,137	839	(入館者内訳) ・有料一般 : 8,808人 (37.6%) ・小中高校生 : 3,613人 (15.5%) ・長寿減免者 : 10,988人 (46.9%)
企画展	21,272	3,250	
計	23,409	4,089	

イ 企画展等展示関係

(ア) 企画展・特別展

企画展名	期間 (休館日を除く開館日数)	観覧者数
企画展 蔵のなかの民具たち	H24. 4. 28(土) ~ 6. 10(日) 44日間	5,219人
岡豊山フォトコンテスト共催企画 前田博史写真展 一然一	H24. 4. 1(日) ~ 4. 8(日) 8日間	2,662人
コーナー展 歴民館の名品紹介 -最近の収集資料から-	H24. 4. 28(土) ~ 5. 20(日) 23日間	(3,589人)
企画展 船のおもちゃ図鑑 -山崎茂さんの郷土玩具から-	H24. 7. 20(金) ~ 9. 2(日) 45日間	4,320人
特別展 刀 武士(もののふ)の魂 -備前の名刀と土佐ゆかりの刀剣-	H24. 10. 6(土) ~ 12. 23(日) 79日間	9,071人
※企画展開催時期が重複するために合計観覧者数には含まず。 企画展観覧者合計		21,272人

(イ) 常設展示

配 置	期 間 (企画展開催以外の日数)	観覧者数
3階総合展示室・2階長宗我部展示室	H24. 4. 1(日) ~ H24.12.24(日) 92日間	2,137人

*休館日:12月25日~3月31日(工事のため休館)

(ウ) フリースペース・ミニギャラリー展示 (県民参加型展示企画)

企 画 名	期 間	場 所
岡豊山フォトコンテスト応募作品展	H24. 5. 3 (木・祝) ~ 6.10 (日) 39日間	ミニギャラリー フリースペース
東京写真月間2012 巡回展	H24. 11. 17 (土) ~ 11.25 (日) 9日間	2階ロビーフロア 多目的ホール

ウ. 教育普及事業

(ア) 講演会

演 題	講 師	実 施 日	聴講者数
特別公演 「いざなぎ流 えびすの倉入れ」	いざなぎ流神楽保存会	H24. 5. 4 (金)	200人
講演会 「武将と名匠」	東京国立博物館名誉会員 小笠原 信夫氏	H24. 10. 8 (月)	65人
特別講演 「清盛のめざしたもの」	神戸大学名誉教授 高橋 昌明氏	H24. 5. 12 (土)	132人
特別講演 「安徳天皇の四国潜幸秘史」	麗澤大学名誉教授 細川 幹夫氏	H24. 10. 13 (土)	203人
		4回	計 600人

(イ) 講座

演 題	講 師	実 施 日	聴講者数
講座「備前刀の世界」	岡山県立博物館 学芸員 佐藤寛介氏	H24. 10. 14 (日)	55人
歴民 歴史講座 「時代は武士の世に」	館長 宅間一之	H24. 6. 9 (土)	80人
歴民 歴史講座 「鎌田冠者希義土佐で挙兵」	館長 宅間一之	H24. 7. 14 (土)	80人
歴民 歴史講座 「夜須七郎行宗と琳猷上人」	館長 宅間一之	H24. 8. 11 (土)	73人
歴民 歴史講座 「四国山中落人の道をたどる」	館長 宅間一之	H24. 9. 8 (土)	80人
歴民 歴史講座 「横倉山安徳天皇御陵参考地とその周辺を 訪ねて」 (現地視察)	館長 宅間一之	H24. 11. 9 (金)	34人
歴民 歴史講座 「安徳天皇御陵及び参考地と伝承地」	館長 宅間一之	H24. 12. 8 (土)	54人
歴民 歴史講座 「土佐源平争乱期の史跡を巡る」 (現地視察)	館長 宅間一之	H25. 1. 12 (土)	37人
8回			計 493人

(ウ) 展示室トーク

ト ーク 名	講 師	実 施 日	聴講者数
蔵の中の民具たち	学芸員 梅野光興	H24. 4. 28 (土)	13人
蔵の中の民具たち	学芸員 梅野光興	H24. 5. 3 (木・祝)	9人
コーナー展 歴民館の名品展	学芸員 野本 亮	H24. 5. 3 (木・祝)	43人
コーナー展 歴民館の名品展	学芸員 野本 亮	H24. 5. 12 (土)	25人
船のおもちゃ図鑑	学芸員 中村 淳子	H24. 7. 21 (土)	5人
船のおもちゃ図鑑	学芸員 中村 淳子	H24. 8. 4 (土)	9人
刀 武士 (もののふ) の魂	学芸員 野本 亮	H24. 10. 5 (金)	71人
干支の玩具 巳	学芸員 中村 淳子	H24. 12. 1 (土)	1人
8回			176人

(エ) 史跡めぐり

見学地等	講師	実施日	参加者数
蔵の里めぐり	学芸員 梅野光興	H24. 5. 20 (日)	21人
1回			21人

(オ) ワクワクワーク

教室名(内容)	講師	実施日	参加者数
長宗我部氏の武将になろう	当館学芸員	H24. 5. 3(木・祝)	63人
長宗我部氏の武将になろう	当館学芸員	H24. 5. 5(土・祝)	20人
折り紙でかわいい兜をつくろう	当館学芸員/カルチャーサポーター	H24. 5. 3(木・祝)	62人
土佐民話の家24「長者の話」	当館学芸員/カルチャーサポーター	H24. 5. 3(木・祝)	38人
琥珀(こはく)で勾玉を作ろう(午前)	当館学芸員/カルチャーサポーター	H24. 8. 4(土)	43人
琥珀(こはく)で勾玉を作ろう(午後)	当館学芸員/カルチャーサポーター	H24. 8. 4(土)	52人
ポンポン船等で遊ぼう(午前)	当館学芸員/カルチャーサポーター	H24. 8. 12(日)	49人
ポンポン船等で遊ぼう(午後)	当館学芸員/カルチャーサポーター	H24. 8. 12(日)	51人
刀鍛冶体験	全日本刀匠会中国四国地方本部 /カルチャーサポーター	H24. 10. 6(土)	34人
刀鍛冶体験	全日本刀匠会中国四国地方本部 /カルチャーサポーター	H24. 10. 7(日)	73人
銘切り体験	全日本刀匠会中国四国地方本部 /カルチャーサポーター	H24. 10. 6(土)	25人
銘切り体験	全日本刀匠会中国四国地方本部 /カルチャーサポーター	H24. 10. 7(日)	29人
巳 張り子の絵付け	草流舎	H24. 11. 23(金・祝)	30人
13回 計			569人

(カ) 長宗我部元親と土佐の戦国史跡巡り 一條家土佐七守護ゆかりの地を訪ねて 第1戦 定員各40人

講座名	講師	実施日	参加者数
第1回「本山城跡と春の花まつり」	館長 宅間一之	H24. 4. 29(日)	40人
第2回「吉良城跡と味菜の手料理」	館長 宅間一之	H24. 5. 13(日)	40人
第3回「岡豊城跡と元親初陣の地」	館長 宅間一之	H24. 9. 30(日)	29人
第4回「久礼城跡と中土佐町の鯉」	館長 宅間一之	H24. 10. 14(日)	33人
第5回「蓮池城跡と土佐市の旬菜」	館長 宅間一之	H24. 11. 3(土・祝)	30人
第6回「一條神社大祭と松田城跡」	館長 宅間一之	H24. 11. 22-23(金・土)	27人
第7回「楠目城跡と香宗城跡探訪」	館長 宅間一之	H25. 1. 20(日)	31人
第8回「姫野々城跡と津野町の食」	館長 宅間一之	H25. 2. 17(日)	31人
第9回「安芸城跡と早春の食と酒」	館長 宅間一之	H25. 3. 10(日)	32人

長宗我部元親と土佐の戦国史跡巡り 一條家土佐七守護ゆかりの地を訪ねて 第2戦 定員各40人

第1回「本山城跡と新緑の里巡り」	館長 宅間一之	H24. 5. 26(土)	20人
第2回「吉良城跡とあじさい街道」	館長 宅間一之	H24. 6. 10(日)	14人
第3回「一條氏ゆかりの地と松田城跡」	館長 宅間一之	H24. 9. 15-16(土・日)	13人
第4回「岡豊城跡と元親初陣の地」	館長 宅間一之	H24. 9. 23(日)	31人
第5回「姫野々城跡と津野町の食」	館長 宅間一之	H24. 10. 6(土)	40人
第6回「久礼城跡と中土佐町の魚」	館長 宅間一之	H24. 12. 9(日)	39人
第7回「楠目城跡と香宗城跡探訪」	館長 宅間一之	H25. 1. 27(日)	32人
第8回「蓮池城跡と土佐市の旬菜」	館長 宅間一之	H25. 2. 3(日)	35人
第9回「安芸城跡と早春の食と酒」	館長 宅間一之	H25. 3. 10(日)	28人
計18回			545人

エ 学校教育関係

(ア) 学校来館対応

学習項目	校数	参加者	備考
総合的な学習	1	7	一つのテーマについて調査研究する授業
ポイント学習	1	32	一つのテーマについて勉強する授業
展示見学・通史解説と体験学習	15	905	上の授業に体験学習を合わせた授業
展示見学とビデオ学習	29	1,190	自由見学とビデオ解説による授業
合計	46校	2,134名	引率教師 179名、保護者47名含む

(イ) 出張派遣授業 (月別総合)

月	校数	学校名	主な内容	生徒数
5月	1	高知市・春野西小	火おこし	45
6月	3	南国市・岡豊小、香南市・香我美小 南国市・三和小	勾玉、よろいかぶと	233
8月	1	高知市・高須小	昔あそび、からくり	40
9月	1	南国市・久礼田小	よろいかぶと	29
10月	1	高知市・大津小	勾玉	150
11月	1	高知市・横内小	勾玉・火おこし	86
12月	1	南国市・香長中	伝統的な食文化・地域の食文化	216
1月	1	南国市・岡豊小	勾玉	72
9校				871人

(ウ) 職場体験

学校名	期間	人数
高知市 潮江中学校	H24. 5.16～ 5.18 (3日間)	4人
高知市 介良中学校	H23. 5.23～ 5.25 (3日間)	5人
南国市 香長中学校	H24. 6.13～ 6.15 (3日間)	3人
高知市 一宮中学校	H24. 7.11～ 7.13 (3日間)	3人
計 4校	12日	15人

オ 24年度特殊事情

- ・空調機器故障による収蔵環境の悪化

平成3年のオープンから20年以上を経過し、設備等の老朽化が進行しつつあります。当館は高知県内唯一の公開承認施設であり、良好かつ安定した収蔵庫環境の確保は必須のものであり、平成24年12月25日から平成25年3月31日まで休館し、温湿度管理改善のための工事を実施しました。